



細井 公 議員
(白新会)

問 男性不妊治療助成の
拡充は

WHOの調査では不妊治療カップルの約半数は男性側にも原因があるというが、男性不妊治療に関する理解はまだ十分とはいえない。市でも男性不妊治療助成金を出しているが、女性不妊より助成金の支給金額が低く設定されているが、考えを伺う。

答 現在の助成額で事業を
継続する予定

市の助成は、県の助成事業に上乗せした形で実施しており、現時点では現在の助成額で事業を継続する予定である。また、若いうちから妊娠・不妊に関する理解が深まるよう成人式において啓発冊子を配布し、正しい知識の提供を進めていく。

問 行政監督者の監督行為は

6月定例議会の一般質問で防災情報板や自転車放置禁止区域表示板などの問題を取り上げた。その後修正作業が行われたが「白岡町」の表示のまま残っているものがある。同じ内容で一度で終わる仕事に何度も手間をかける無駄が生じていることをどう思うか。

答 現地確認し修正を行った

一部の看板などに白岡町の表示が残っていたため、早急に現地を確認し、「町」の表示が残っていた箇所の修正を行った。



渡辺聡一郎 議員
(創政会)

問 駅周辺や市街地の
活性化が必要だ

白岡は典型的なベッドタウンであり駅や市街地に活気が少ない。専門家を交えて駅周辺のエリアプロデュースを行い、魅力ある店舗の誘致や商店街の計画づくりを進めては。新白岡駅周辺も開発事業者などと市が協議を行い、活性化を図ることが重要ではないか。

答 地域経済の活性化を
図っていく

エリアプロデュースは、先進自治体で実施されている情報を収集していく。商工会などのイベントが持続的に店舗売上につながるよう、地域商業の活性化策を考えていく。新白岡駅周辺は、賑わいのある商業空間が形成されるよう企業の相談などに対応し誘致を図る。

問 大山地域の自然を
活かした観光政策を

大山地域の自然を活かした観光政策を積極的に進めていくべきだ。グリーンツーリズムや柴山沼の魅力を引き出す観光整備を進めていく考えはあるか。122号周辺の土地利用については柴山沼などと一体とした将来像を描き、計画を前進させる事が必要ではないか。

答 人を呼び込む事業を
展開していく

大山地域には柴山沼があり、魚釣りや四季の花など自然を満喫することができる。観光整備に向けて先進地事例など情報を収集していく。また、関係地権者に将来の土地利用についてアンケート調査を実施し、その結果を踏まえ、まちづくりを進める。



白岡駅西口